

# つるのおんがえし

「ご縁」をいただいたあなたへお届けする、「大きな想い」の「小さなお手紙」



新春の  
およろこびを  
申し上げます



2019年となりました。こんにちは、感動・創庫の芦川永光です。新しい年の始まりに際して、今年も年賀状ではなくお手紙を送らせていただきます。昨年は100号を目前に足踏みさせた「つるのおんがえし」ですが、今年は「無為自然」と定めた年間目標どおり、力まず焦らずに、良心に導かれるまま感じたままをお届けしたいと思います。

## 無為自然とは？

無為という言葉には、「意図や作為のない」という意味があります。この無為に自然がつくことで、「何も作為することのないあるがままの状態」という言葉になります。

老子の説いた中に、「道は常に無為にして、而(しか)も為さざる無し」(何事も為さないで

いながら、すべてのことをなしている)という、天地のあるがままと生物の本懐(私はそう理解しました)をまとめた一説があります。私はこの言葉から、自然体こそが最も自由であり、最も強靱であることを感じ取りました。左脳(顕在意識)の計算能力が毎秒40ビットで、右脳(潜在意識)は毎秒1000ビットという大きな違いがあることはご存知かと思えます。昨今、つかみどころのない分かりづらい時代になりましたが、ここでこそ潜在意識が発揮されるべきタイミングだと思えます。

私たちが良心に基づいて、自由に、潜在意識を優先して直感的に生きられればどうなるでしょうか。幸福が生み出され、自ずと世界には平和が訪れる。何も為さずになす、これが自然であり究極ですが、どのくらいの人々がここに身を委ねられるでしょうか。思考をしないのはさすがに難しいと感じる方は多いと思います。

今年  
亥年だワン!



# 北海道のZINEに 心がジンジン

北海道札幌市のクリエイターチーム「Simauma Design」の代表、那珂隆之さんの個展「BOOK LOVE」にお邪魔しました。

感想はひとつ、心から最っ高でした！那珂さんの本への愛がふんだんに散りばめられた二つの部屋を、時間を忘れて行ったり来たりしていました。息子もあっちこっちと動いて楽しかった様子。やっぱりデザインは素晴らしい。やっぱり那珂さんスゴイ！

「ZINE(ジン)」と呼ばれる少数の出版物がこの個展の主役でして、これを立ち読み、もしくは座り読みをして楽しむというスタイル。特に気に入った作品は「昔〇だった」と「DENKI」。そして現地でしか読めない「ドラえまん」。たくさんの発見があり、北海道まで行った甲斐がありました。

僕らが地元でもっと活躍して、関東圏に那珂さんをお呼びして個展が開けるようになるのが次の目標ですね。

那珂さん、大変お忙しい中にも関わらず、お酒の席までご用意してくださりありがとうございます！



先月の「つるのおんがえし」が久しぶりだったこともあり、気にかけてくださった方からのご連絡をたくさんいただきました。オススメ本を読んだの感想をもらったり、久しぶりにお会いする機会をいただいたり、新しいお仕事の流れも生まれたりしました。

## 編集後記 次の10年をつくる仲間

この10年で今が一番自由に発想できて、充実しているのは間違いない。タッフみんなのおかげです。事務所の雰囲気が良いという声は多くいただきますし、「お問い合わせをした時に電話先で笑い声が聞こえて楽しそうだったので、ココにお願いしようと思った」と言っていたり、いろいろな会社になったんです。よくこれほどまでにスゴイ人たちが集まったもんだと驚いてばかりです。



# 2018年の開運カード

今年も、お送りいたします!!



今年の開運カードです!!

新しい一年、あなたにたくさんの幸運に満たされるよう、開運デザイナーに特別にお願いし、「2019年開運カード」を作成しましたので、お送りさせていただきます。

2019年は九星気学で「八白土星」。変化変動の象意があるとされています。大小様々な変化とともに迎える、明るい未来への期待を、今年のラッキーカラーの赤・白・金で、絢爛な紋様として現しました。

中央にあしらったのは積極果敢な猪。次なる変化があなたにとっての「好機」となりますことを願います。その肉に万病を防ぐ力があり、「無病息災」の象徴とされる猪のごとく、あなたの2019年が「健」やかに勢いよく「進」まれることを表しています。

風水では、運気は、玄関やドアから入ってくると言われていますので、裏面に、今年の願いをひとつ書き出し、玄関や部屋のドアの目につくところに張り出して、それを叶えるたくさんの運気を引き寄せてください。

今年一年、たくさんの善いことがありますよう、心より祈っています。